

## 第五十一回フオト旬会優秀作品(27年5月12日)

### 自由題



竜神が動き始めた  
春の海 中村晃也  
寸 評：満潮になると江の島の左右からの汐がここで合流するらしい。汐の動きを竜神の目覚めと捉えた。



父祖からの石の住まいが  
見世物に 大月 和彦  
寸 評：イタリア南部のアルベロベッロの石屋根の住宅。見世物という表現は使いたくないので、  
**先人の叡智を讃え世界遺産**



水神の正体みたり

放水路 池田 隆

寸 評：コントラストのはっきりした美しい風景だ。句意がやや不明確。

河統べる水神の影放水路



夜を重ね 色濃きままの

落ち椿 中村 晃也

寸 評：道端の落ち椿の写真でも作品になる。思わせ振りの句が好きか嫌いか意見が割れた。



今月のリハビリ教室 (句の推敲)



投票日 緋鯉選ぼか  
風まかせ 安藤 晃二  
寸評:動きのある綺麗な写真だ。  
上5と下5をそのまま活かし  
**投票日なべてこの世は風まかせ**



女子力が わが経済の  
担い手に 矢澤 正二  
寸評:お祭りの活気が伝わる  
が、句が真面目過ぎるので・・・。  
**お祭の時だけ女子の馬鹿力**

## 付け句

このページはどんな写真にも良い句がつけられるように訓練するコーナーです。



今月は大月さんの出題で、小田原駅構内にある二宮金次郎の像です。

- |                   |       |
|-------------------|-------|
| 1) 爆弾を背負いコーラン読み耽る | 中村 晃也 |
| 2) 金次郎ここは何処かと地図広げ | 池田 隆  |
| 3) 永遠のあの子想わる小学校   | 安藤 晃二 |

寸評：

- 1) 背負った薪を爆弾に、論語の書物をコーランに見立てた時勢に合った作品。
- 2) 歩きスマホを詠んだ句が多かったが、ここでは書物を地図に見立てたのがよかった。あの金次郎が小田原の駅で地図を調べていると思うと楽しい。
- 3) 昔はどの小学校にも銅像があった。「永遠のあの子」、「想わる」などのペンクラブの重鎮とは思えぬ言葉使いが気になるが、あのころを懐かむ気持ちは理解できる。句意を斟酌すると銅像の下で待ってたあの想いぐらいで良いのでは？